



No. 8-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成22年度第2回

国道27号

に し ま い づ る  
西 舞 鶴 道 路

【再評価】

平成22年9月  
近畿地方整備局

# 目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 関係自治体の意見等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 対応方針(原案)

# 1. 事業の概要

## 事業の目的

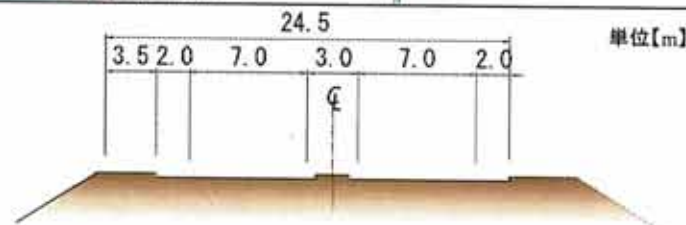
- 高速道路へのアクセス強化
- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保

## 事業の概要、進捗状況

区間	(起) 京都府舞鶴市上安 (終) 京都府舞鶴市京田
道路延長	L=4.9km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
標準幅員	W=24.5m(土工部)
計画交通量	17,900台/日
全体事業費	245億円
事業化	平成19年度
都市計画決定	平成3年2月
用地着手	—
事業進捗率	約2%(平成22年3月末現在)
用地取得率	約0%(面積ベース、同上)



標準断面図



# 2. 事業の必要性に関する視点

## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化(交通量)

- 京都舞鶴港は近畿圏の日本海側に位置する唯一の重要港湾で、H22年4月に舞鶴国際ふ頭が完成。
- 舞鶴西地区の国道27号の交通量は近年横ばいで推移しているが、交通容量を超過。

＜国道27号の平日24時間交通量の推移＞



○平成22年6月28日、舞鶴若狭自動車道全線で無料化社会実験を開始  
舞鶴西ICの利用状況(中型車以上)

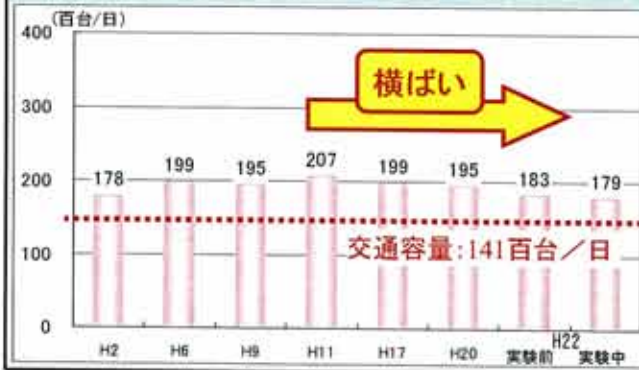


出典:国土交通省 報道記者発表資料(H22.8.11)  
実験前:平成22年6月23日(水)、実験中:平成22年6月30日(水)

○京都舞鶴港では平成22年4月に、5万トン級船舶が接岸可能な日本海側最大級の水深14mの岸壁や広い荷さばき地を持つ舞鶴国際ふ頭が完成。



えんまんじ 国道27号(舞鶴市円満寺)



えんまんじ 写真 国道27号(円満寺)



H22年6月29日撮影

出典:  
H2～H17=道路交通センサス  
H20はH20.10.21実測  
H22は実験前:H22.6.22、実験中:H22.6.29実測  
交通容量はH17センサスの値を用いて算出

# 2. 事業の必要性に関する視点

## 2) 事業の整備効果(高速道路へのアクセス強化)

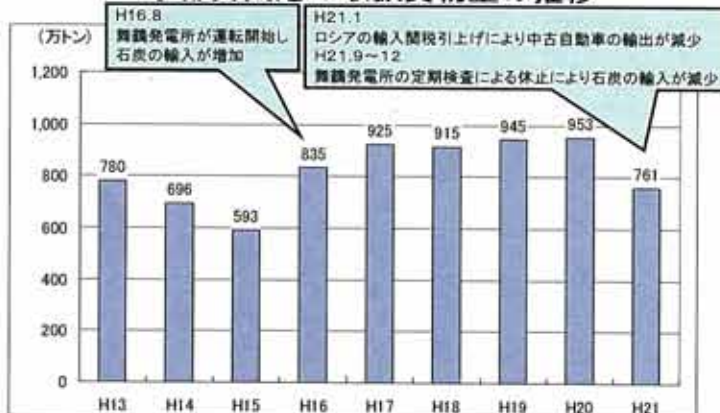
- 舞鶴西地区の国道27号は交差点が連続して存在し、交通混雑により舞鶴西ICとのアクセスに課題。
- 西舞鶴道路の整備により京都舞鶴港（重要港湾）や西舞鶴道路沿道にある倉谷工業団地と舞鶴西ICとのアクセス性が向上し、物流の効率化により、産業振興や地域活性化が期待されます。

○京都舞鶴港は近畿北部の物流拠点として、またロシアをはじめ対岸諸国との貿易の拠点として重要な位置にあります。



舞鶴国際ふ頭～舞鶴西ICの所要時間  
 整備前: 18分  
 整備後: 10分

京都舞鶴港の取扱貨物量の推移



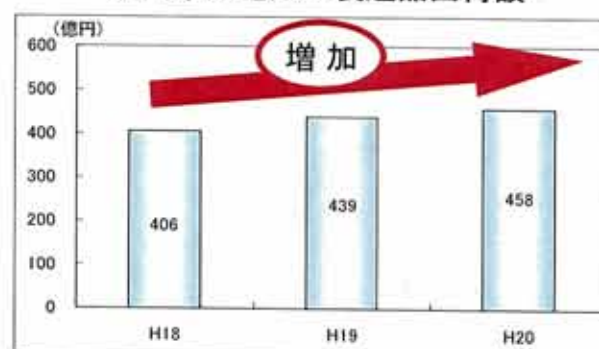
出典: 京都府記者発表資料

京都舞鶴港の貨物量(トン)



資料: 平成18年港湾統計 陸上出入貨物調査

舞鶴市西地区の製造品出荷額

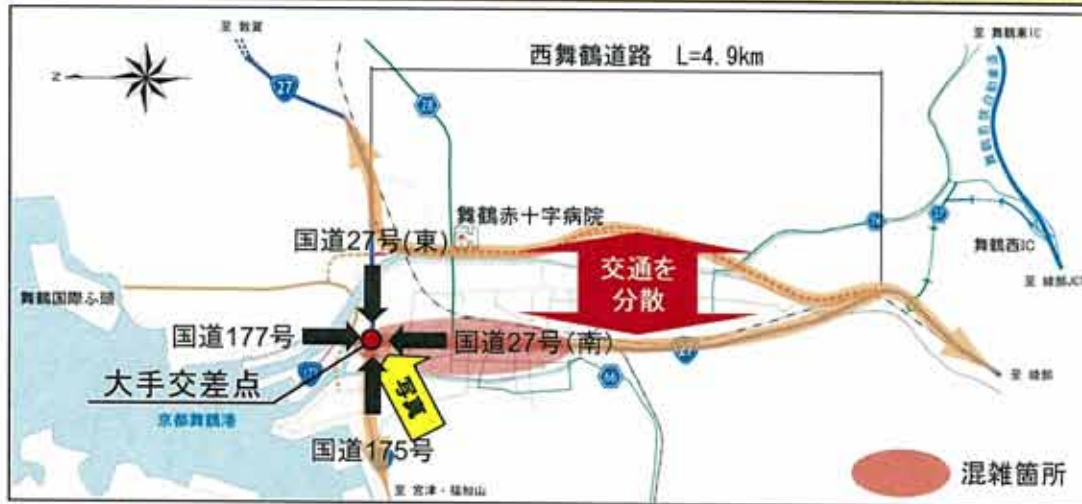


出典: 舞鶴市統計書

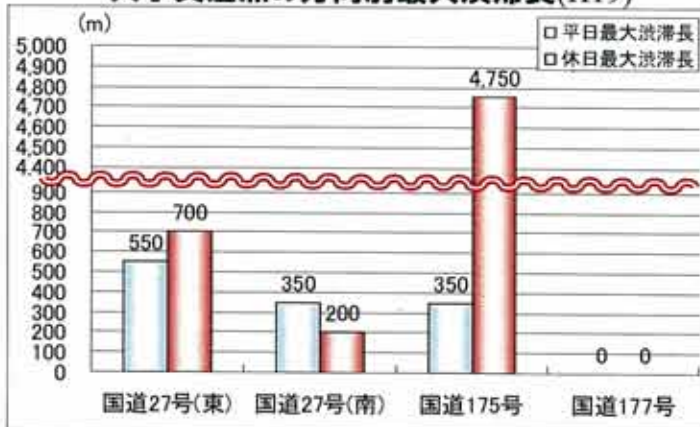
# 2. 事業の必要性に関する視点

## 2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 国道27号と国道175号が接続する<sup>おおて</sup>大手交差点では、特に海水浴シーズンには著しい交通混雑が発生している。
- 西舞鶴道路の整備により大手交差点へ流入する交通が分散し、交通混雑の緩和や二次医療施設である舞鶴赤十字病院への走行性の向上が期待される。



大手交差点の方向別最大渋滞長(H19)



出典: 福知山河川国道事務所調べ 調査日: 平成19年7月25日(水)、7月29日(日)



写真 大手交差点

H22年6月29日撮影

舞鶴市内には二次医療施設が3つあるが、舞鶴西地区は舞鶴赤十字病院のみ



救急出動件数



出典: 舞鶴市消防本部HP、消防白書

# 2. 事業の必要性に関する視点

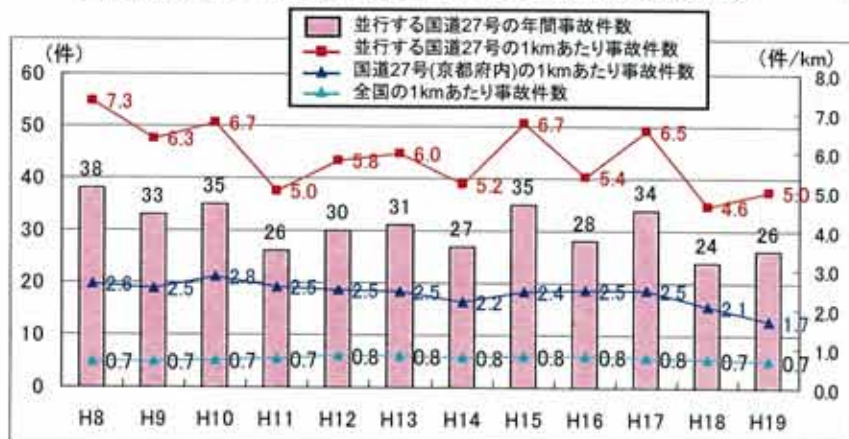
## 2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 国道27号の交通混雑を回避するため、住宅地内の生活道路を迂回する交通があり、事故が発生するなど安全性の確保が課題。
- 西舞鶴道路の整備により生活道路を走る交通が転換され、生活道路の安全性向上が期待できる。



出典: 京都府警察HP(交通事故発生マップH21.1~H21.12)

西舞鶴道路と並行する国道27号の死傷事故件数



西舞鶴道路と並行する国道27号の事故類型

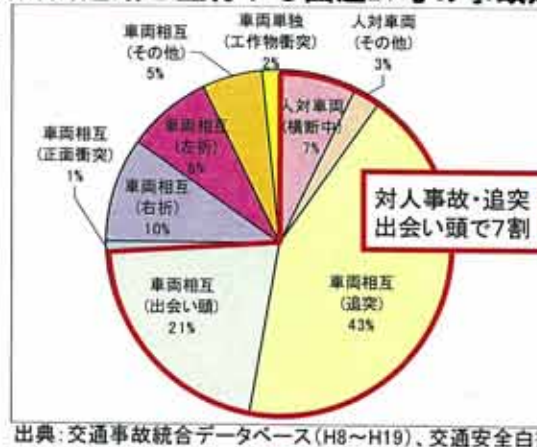


写真 (主)小倉西舞鶴線

H22年7月20日(火)撮影

出典: 交通事故総合データベース(H8~H19)、交通安全白書

## 2. 事業の必要性に関する視点

### 3) 事業の投資効果

#### ■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

#### ■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

#### ■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	346億円	5.1億円	8.0億円	359億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	198億円		24億円	222億円	

#### ■ 算出条件等

基準年 : 平成22年度  
 検討期間 : 50年間  
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4 %  
 交通量の推計時点 : 平成42年度  
 推計に用いた資料 : 平成17年度 道路交通センサス  
 適用した費用便益分析マニュアル : 平成20年11月版  
 事業費 : 245億円  
 維持管理費 : 29.9百万円/km  
 作成主体 : 近畿地方整備局

#### ■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	346億円	5.1億円	8.0億円	359億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	193億円		24億円	217億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している



## 2. 事業の必要性に関する視点

### 4) 関係自治体の意見等

#### ■京都府知事

平成22年8月26日 2道計第188号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

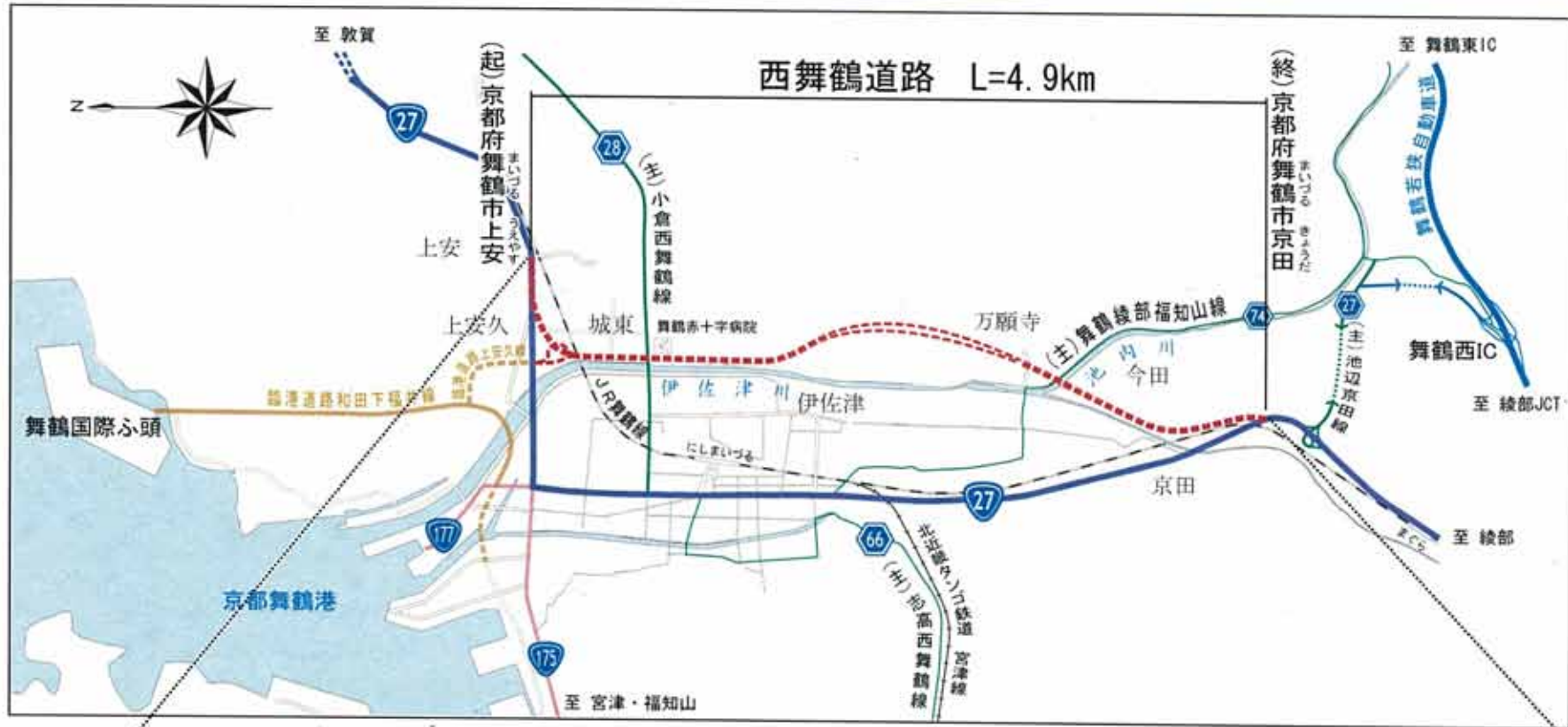
対応方針(原案)案のとおり、引き続き事業を推進し、早期の完成に努められたい

#### 地域計画等への位置付け

- 新しい舞鶴市総合計画(舞鶴市:H13.3)
- 舞鶴市都市計画マスタープラン(舞鶴市:H16.2)
- 京都府緊急輸送道路ネットワーク計画書(京都府:H19.3)

# 3. 事業進捗の見込みの視点

- 西舞鶴道路は平成19年度に事業化し、用地交渉に向けた調査・設計を進めています。
- 引き続き事業を推進し、早期の供用を目指します。



区間	L=4.9km
用地	用地取得(0%)
工事	調査・設計 推進中

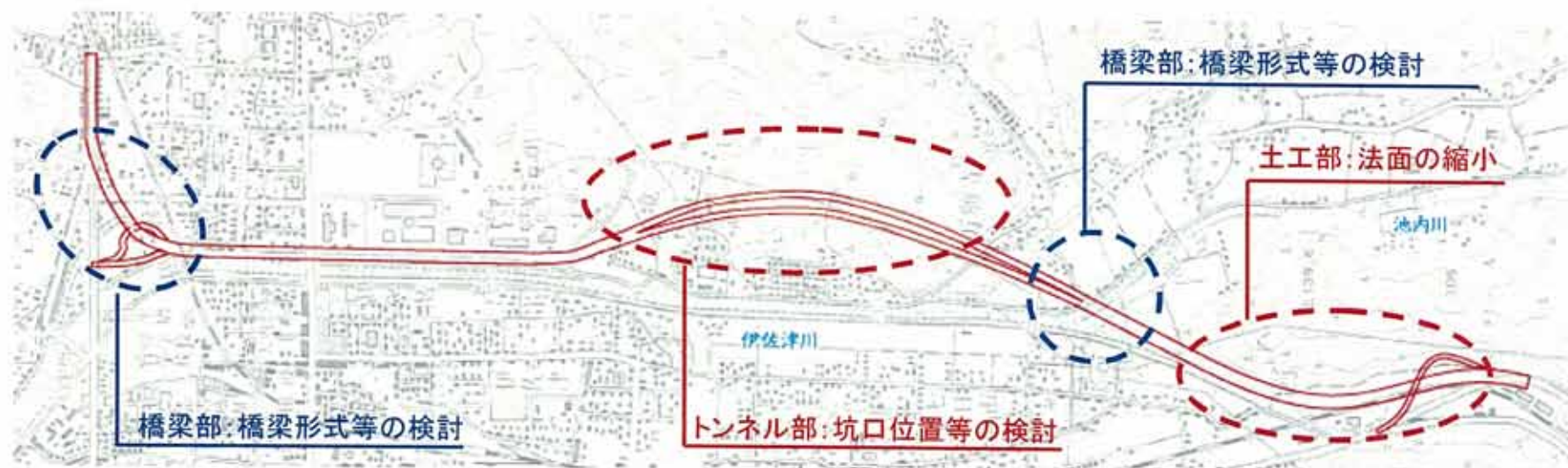
※用地進捗率は、平成22年3月末の面積ベース

## 4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

西舞鶴道路の計画は、地形、周辺の土地利用状況、主要幹線道路等との接続をはじめ、まちづくりとの整合を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺の環境や景観の保全を図りながら、引き続き事業を推進していきます。



今後、詳細な測量・地質調査を実施し、設計において土工・橋梁等の計画、新技術・新工法を活用する等、コスト縮減に努めながら事業を推進していきます。



## 5. 対応方針(原案)

国道27号 西舞鶴道路

### 1. 事業の必要性等に関する視点

- ・京都舞鶴港では、平成22年4月に5万トン級船舶が接岸可能な舞鶴国際ふ頭が完成。
- ・国道27号の交通量は交通容量を超過している。
- ・西舞鶴道路の整備により京都舞鶴港と舞鶴若狭自動車道 舞鶴西ICとのアクセス性が向上し、物流の効率化により、産業振興や地域活性化が期待できる。
- ・西舞鶴道路の整備により国道27号の交通混雑を緩和し、第二次医療施設である舞鶴赤十字病院への走行性向上が期待できる。
- ・西舞鶴道路の整備により生活道路を走る交通が転換され、生活道路の安全性向上が期待できる。
- ・費用便益比(B/C)は1.6。

### 2. 事業進捗の見込みの視点

- ・西舞鶴道路は、平成19年度に事業化。
- ・引き続き事業を推進し、早期の全線供用を目指す。

西舞鶴道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

**事業継続**



No. 8-2

近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成22年度第2回

国道27号  
にしまいづる  
西舞鶴道路  
【再評価】

平成22年9月  
近畿地方整備局

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道27号 西舞鶴道路
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの現状
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.6 (経済的純現在価値 (B-C) = 137億円、経済的內部収益率 (EIRR) = 7.0%) 既事業：費用便益比 (B/C) = 1.7 (経済的純現在価値 (B-C) = 142億円、経済的內部収益率 (EIRR) = 7.2%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの現状
政策目標	1. 活力 円滑なモビリティの確保	区間a (費用便益分析対象区間) について 経済損失時間 (短縮) : 66, 162万人・時間/年 経済損失削減時間 : 105万人・時間/年 (141, 719万人・時間/年 → 141, 694万人・時間/年) 区間b (当該区間等) について : 国道27号、舞鶴若狭道、志道京田線、舞鶴和知線 本行区間等の経済損失削減時間 : 169万人・時間/年 本行区間等の経済損失削減率 : 約2割削減
	<input type="checkbox"/> 現通等における遅延時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
	<input type="checkbox"/> 現通又は本行区間等における路側交通遮断量が10, 000台時/日以上かつ路側運の路却もしくは交通改善が期待される	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現通等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	京都交通バス
	<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が図られる	
	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が図られる	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が図られる	舞鶴市～京都舞鶴港 (所要時間 : 25分→15分)
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産物を主体とする地域において農林水産物の流通の利便性が向上	舞鶴市、主な出荷先 : 京都中央卸売市場
	<input type="checkbox"/> 現通等における、総重量25tの車両もしくは180立方メートルコンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1. 活力	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの現状
	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/ha以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> 010区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 対象区域が現在連絡道路がない住宅地開発(3000戸以上又は15ha以上、大都市においては1000戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自動車としての位置づけ有り <input type="checkbox"/> 地域重要幹線道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点を間を並規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する <input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
居住ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点を開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する <input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設等へ連結する道路である	
2. 暮らし 歩行者・自転車 のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
無電柱化による美しい街並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史風貌地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
3. 安全 安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 安全で安心できるくらしの確保 <input type="checkbox"/> 三光近郊地帯へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 現道等に高規格歩道が500件/箇所キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は緑移不歩区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの現表
災害への備え	<p>当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は多行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される。</p> <p>近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p>対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある。又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p>	<p>東京都緊急輸送道路ネットワーク計画（国連27号）（第1次緊急輸送道路）</p>
4. 環境	<p>緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p>並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）</p> <p>現道の防災点検又は防災点検要対策箇所もしくは家賃の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解除される</p> <p>現道の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p>対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p> <p>現道等における自動車からのNO2排出削減率</p> <p>現道等における自動車からのCO2排出削減率</p> <p>現道等で騒音レベルが夜間規制レベルを超過している区間について、新たに規制レベルを下回ることが期待される区間がある</p> <p>その他、環境や景観上の効果が期待される</p>	<p>CO2排出削減量：2,867t-CO2/年</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（並行区間等）：国連27号、舞鶴志津道、池辺京田線、舞鶴初知線 排出削減量：33,48t/年、排出削減率：19%削減</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（並行区間等）：国連27号、舞鶴志津道、池辺京田線、舞鶴初知線 排出削減量：3,66t/年、排出削減率：19%削減</p> <p>国連27号 舞鶴市大田（騒音レベル：昼間70db,夜間70db,延長：3.1km 改善見込み）</p>
5. その他	<p>関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>その他、対象地域や事業に既存の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	
他のアジェンダとの関係		



(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道27号	西舞鶴道路	L=4.9km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
17,900	4車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	233億円	70億円	303億円
うち残事業分	229億円	70億円	299億円
基準年における 現在価値(C)	198億円	24億円	222億円
うち残事業分	193億円	24億円	217億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成29年度			
単年便益 (初年便益)	21億円	0.29億円	0.49億円	22億円
基準年における 現在価値(B)	346億円	5.1億円	8.0億円	359億円
うち残事業分	346億円	5.1億円	8.0億円	359億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.6
経済的純現在価値（事業全体）	137億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.0%
費用便益比（残事業）	1.7
経済的純現在価値（残事業）	142億円
経済的内部収益率（残事業）	7.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	17,900台/日	±10%	1.5~1.8
事業費	229億円	±10%	1.5~1.8
事業期間	6年	±20%	1.6~1.7

## 交通状況の変化

様式-3①

### 事業名：西舞鶴道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (4.9km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	13,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	8	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	18.13	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道27号 (5.2km)	交通量	[台/日]	22,800	13,600
		走行時間	[分]	18	13
		走行時間費用	[億円/年]	69.86	30.24
	舞鶴若狭 自動車道 (10.7km)	交通量	[台/日]	13,500	12,400
		走行時間	[分]	15	14
		走行時間費用	[億円/年]	41.50	37.11
	池辺京田 線 (8.1km)	交通量	[台/日]	5,000	4,600
		走行時間	[分]	56	52
		走行時間費用	[億円/年]	45.17	39.61
	舞鶴和知 線(6km)	交通量	[台/日]	9,900	9,000
		走行時間	[分]	22	22
		走行時間費用	[億円/年]	33.85	30.78
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (26,411.3km)	走行時間費用	[億円/年]	191,230.75	191,243.89	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：26,446.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	191,421.13	191,399.75	21.38

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

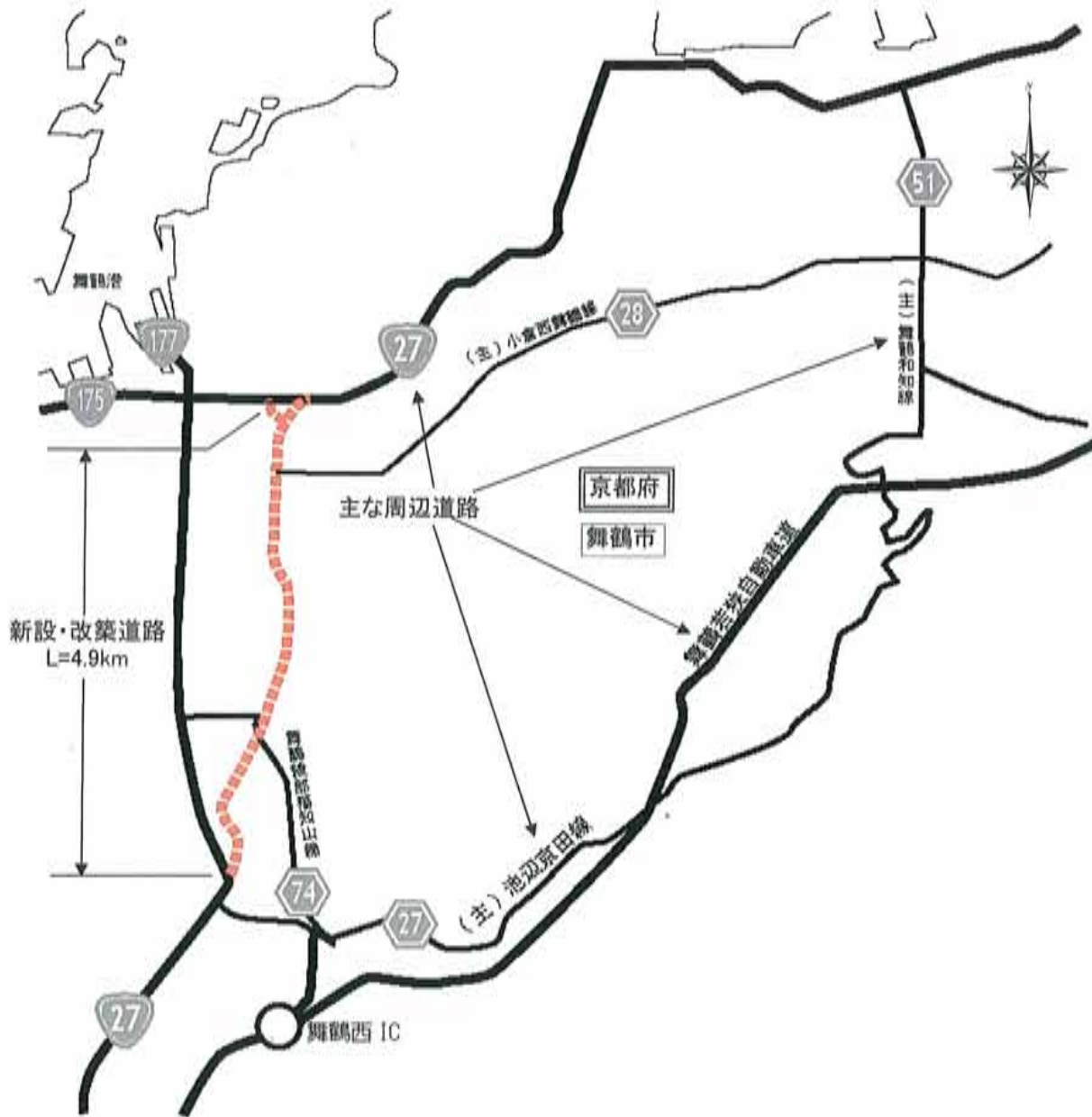
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



# 交通状況の変化

様式-3①

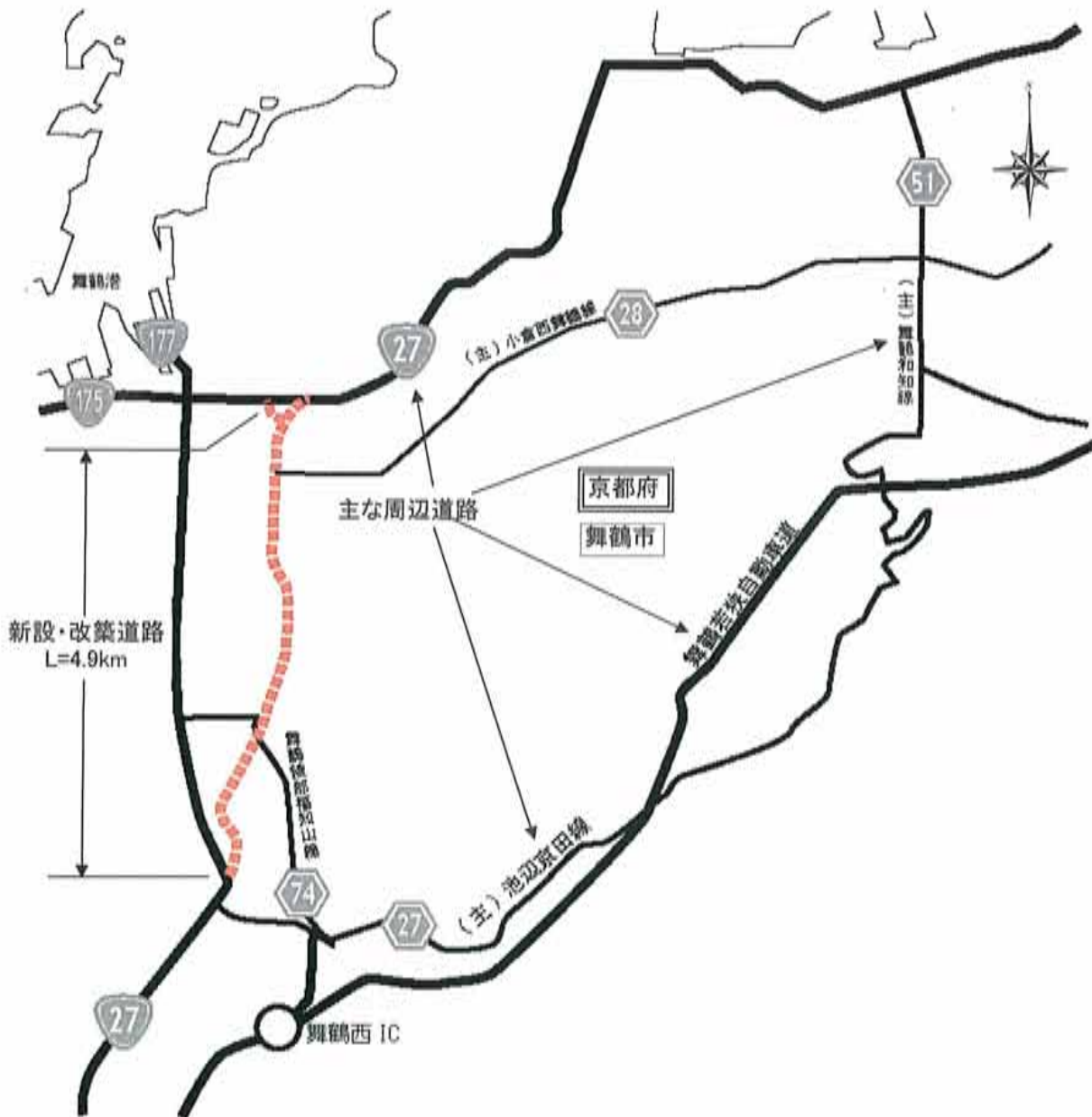
## 事業名：西舞鶴道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 (4.9km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	13,000	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	8	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	18.13	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	国道27号 (5.2km)	交通量	[台/日]	22,800	13,600
		走行時間	[分]	18	13
		走行時間費用	[億円/年]	69.86	30.24
	舞鶴若狭 自動車道 (10.7km)	交通量	[台/日]	13,500	12,400
		走行時間	[分]	15	14
		走行時間費用	[億円/年]	41.50	37.11
	池辺京田 線 (8.1km)	交通量	[台/日]	5,000	4,600
		走行時間	[分]	56	52
		走行時間費用	[億円/年]	45.17	39.61
	舞鶴和知 線(6km)	交通量	[台/日]	9,900	9,000
		走行時間	[分]	22	22
		走行時間費用	[億円/年]	33.85	30.78
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (26,411.3km)	走行時間費用	[億円/年]	191,230.75	191,243.89	
			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：26,446.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	191,421.13	191,399.75	21.38

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：西舞鶴道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成20年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)	
	パーソトリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他( )	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他( BPR関数と転換率式の併用による配分 )	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、 最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定





## 費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道27号 西舞鶴道路

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.299		4.9	1.47
-10年目	H 19	1.1249	91.7	1.76	1.97		
-9年目	H 20	1.0816	91.3	0.50	0.54		
-8年目	H 21	1.0400	91.3	1.46	1.52		
-7年目	H 22	1.0000	91.3	0.71	0.71		
-6年目	H 23	0.9615	91.3	38.15	36.68		
-5年目	H 24	0.9246	91.3	38.15	35.28		
-4年目	H 25	0.8890	91.3	38.15	33.92		
-3年目	H 26	0.8548	91.3	38.15	32.61		
-2年目	H 27	0.8219	91.3	38.15	31.36		
-1年目	H 28	0.7903	91.3	38.14	30.14		
供用開始年次	H 29	0.7599	91.3			1.40	1.06
1年目	H 30	0.7307	91.3			1.40	1.02
2年目	H 31	0.7026	91.3			1.40	0.98
3年目	H 32	0.6756	91.3			1.40	0.94
4年目	H 33	0.6496	91.3			1.40	0.91
5年目	H 34	0.6246	91.3			1.40	0.87
6年目	H 35	0.6006	91.3			1.40	0.84
7年目	H 36	0.5775	91.3			1.40	0.81
8年目	H 37	0.5553	91.3			1.40	0.77
9年目	H 38	0.5339	91.3			1.40	0.74
10年目	H 39	0.5134	91.3			1.40	0.72
11年目	H 40	0.4936	91.3			1.40	0.69
12年目	H 41	0.4746	91.3			1.40	0.66
13年目	H 42	0.4564	91.3			1.40	0.64
14年目	H 43	0.4388	91.3			1.40	0.61
15年目	H 44	0.4220	91.3			1.40	0.59
16年目	H 45	0.4057	91.3			1.40	0.57
17年目	H 46	0.3901	91.3			1.40	0.54
18年目	H 47	0.3751	91.3			1.40	0.52
19年目	H 48	0.3607	91.3			1.40	0.50
20年目	H 49	0.3468	91.3			1.40	0.48
21年目	H 50	0.3335	91.3			1.40	0.47
22年目	H 51	0.3207	91.3			1.40	0.45
23年目	H 52	0.3083	91.3			1.40	0.43
24年目	H 53	0.2965	91.3			1.40	0.41
25年目	H 54	0.2851	91.3			1.40	0.40
26年目	H 55	0.2741	91.3			1.40	0.38
27年目	H 56	0.2636	91.3			1.40	0.37
28年目	H 57	0.2534	91.3			1.40	0.35
29年目	H 58	0.2437	91.3			1.40	0.34
30年目	H 59	0.2343	91.3			1.40	0.33
31年目	H 60	0.2253	91.3			1.40	0.31
32年目	H 61	0.2166	91.3			1.40	0.30
33年目	H 62	0.2083	91.3			1.40	0.29
34年目	H 63	0.2003	91.3			1.40	0.28
35年目	H 64	0.1926	91.3			1.40	0.27
36年目	H 65	0.1852	91.3			1.40	0.26
37年目	H 66	0.1780	91.3			1.40	0.25
38年目	H 67	0.1712	91.3			1.40	0.24
39年目	H 68	0.1646	91.3			1.40	0.23
40年目	H 69	0.1583	91.3			1.40	0.22
41年目	H 70	0.1522	91.3			1.40	0.21
42年目	H 71	0.1463	91.3			1.40	0.20
43年目	H 72	0.1407	91.3			1.40	0.20
44年目	H 73	0.1353	91.3			1.40	0.19
45年目	H 74	0.1301	91.3			1.40	0.18
46年目	H 75	0.1251	91.3			1.40	0.17
47年目	H 76	0.1203	91.3			1.40	0.17
48年目	H 77	0.1157	91.3			1.40	0.16
49年目	H 78	0.1112	91.3	-59.56	-6.62	1.40	0.16
合計				173.77	198.11	69.77	23.68
単純事業費計				233.33		69.77	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 国道27号 西舞鶴道路

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.299	4.9	1.47

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-6年目	H 23	0.9615	91.3	38.15	36.68		
-5年目	H 24	0.9246	91.3	38.15	35.28		
-4年目	H 25	0.8890	91.3	38.15	33.92		
-3年目	H 26	0.8548	91.3	38.15	32.61		
-2年目	H 27	0.8219	91.3	38.15	31.36		
-1年目	H 28	0.7903	91.3	38.14	30.14		
供用開始年次	H 29	0.7599	91.3			1.40	1.06
1年目	H 30	0.7307	91.3			1.40	1.02
2年目	H 31	0.7026	91.3			1.40	0.98
3年目	H 32	0.6756	91.3			1.40	0.94
4年目	H 33	0.6496	91.3			1.40	0.91
5年目	H 34	0.6246	91.3			1.40	0.87
6年目	H 35	0.6006	91.3			1.40	0.84
7年目	H 36	0.5775	91.3			1.40	0.81
8年目	H 37	0.5553	91.3			1.40	0.77
9年目	H 38	0.5339	91.3			1.40	0.74
10年目	H 39	0.5134	91.3			1.40	0.72
11年目	H 40	0.4936	91.3			1.40	0.69
12年目	H 41	0.4746	91.3			1.40	0.66
13年目	H 42	0.4564	91.3			1.40	0.64
14年目	H 43	0.4388	91.3			1.40	0.61
15年目	H 44	0.4220	91.3			1.40	0.59
16年目	H 45	0.4057	91.3			1.40	0.57
17年目	H 46	0.3901	91.3			1.40	0.54
18年目	H 47	0.3751	91.3			1.40	0.52
19年目	H 48	0.3607	91.3			1.40	0.50
20年目	H 49	0.3468	91.3			1.40	0.48
21年目	H 50	0.3335	91.3			1.40	0.47
22年目	H 51	0.3207	91.3			1.40	0.45
23年目	H 52	0.3083	91.3			1.40	0.43
24年目	H 53	0.2965	91.3			1.40	0.41
25年目	H 54	0.2851	91.3			1.40	0.40
26年目	H 55	0.2741	91.3			1.40	0.38
27年目	H 56	0.2636	91.3			1.40	0.37
28年目	H 57	0.2534	91.3			1.40	0.35
29年目	H 58	0.2437	91.3			1.40	0.34
30年目	H 59	0.2343	91.3			1.40	0.33
31年目	H 60	0.2253	91.3			1.40	0.31
32年目	H 61	0.2166	91.3			1.40	0.30
33年目	H 62	0.2083	91.3			1.40	0.29
34年目	H 63	0.2003	91.3			1.40	0.28
35年目	H 64	0.1926	91.3			1.40	0.27
36年目	H 65	0.1852	91.3			1.40	0.26
37年目	H 66	0.1780	91.3			1.40	0.25
38年目	H 67	0.1712	91.3			1.40	0.24
39年目	H 68	0.1646	91.3			1.40	0.23
40年目	H 69	0.1583	91.3			1.40	0.22
41年目	H 70	0.1522	91.3			1.40	0.21
42年目	H 71	0.1463	91.3			1.40	0.20
43年目	H 72	0.1407	91.3			1.40	0.20
44年目	H 73	0.1353	91.3			1.40	0.19
45年目	H 74	0.1301	91.3			1.40	0.18
46年目	H 75	0.1251	91.3			1.40	0.17
47年目	H 76	0.1203	91.3			1.40	0.17
48年目	H 77	0.1157	91.3			1.40	0.16
49年目	H 78	0.1112	91.3	-59.56	-6.62	1.40	0.16
合計				169.34	193.37	69.77	23.68
単純事業費計				228.90		69.77	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

債権の現在価値算定表（事業全体）

年次 (年次)	年度 H 22	総実行台数の年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)	割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間標準 (億円)				走行経費標準 (億円)				事故減少効果 (億円)		名 計 (億円)			
					乗用車種	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ① x (A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ② x (A)		③	現在価値 ③ x (A)	便宜合計 ①-③
使用開始年次	H 29	0.99959	1.00025	0.99980	0.17589	14.62	3.11	3.65	21.38	16.25	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.38	22.17	16.85
1年目	H 30	0.99958	1.00025	0.99980	0.17607	14.62	3.11	3.65	21.38	15.62	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.36	22.17	16.20
2年目	H 31	0.99958	1.00025	0.99980	0.17026	14.61	3.11	3.65	21.38	15.02	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.35	22.16	15.57
3年目	H 32	0.99952	1.00164	1.00009	0.67566	14.61	3.11	3.65	21.37	14.44	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.33	22.16	14.97
4年目	H 33	0.99952	1.00164	1.00009	0.64861	14.60	3.12	3.66	21.37	13.88	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.32	22.16	14.38
5年目	H 34	0.99932	1.00164	1.00009	0.62446	14.59	3.12	3.67	21.37	13.35	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.31	22.16	13.84
6年目	H 35	0.99932	1.00163	1.00009	0.60006	14.58	3.13	3.67	21.37	12.84	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.30	22.16	13.31
7年目	H 36	0.99931	1.00163	1.00009	0.57575	14.57	3.13	3.68	21.38	12.34	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.29	22.16	12.80
8年目	H 37	0.99931	1.00163	1.00009	0.55553	14.56	3.14	3.68	21.38	11.87	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.27	22.17	12.31
9年目	H 38	0.99931	1.00163	1.00009	0.53339	14.55	3.14	3.69	21.38	11.41	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.26	22.17	11.83
10年目	H 39	0.99931	1.00162	1.00009	0.5134	14.54	3.15	3.70	21.38	10.98	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.49	0.25	22.17	11.38
11年目	H 40	0.99931	1.00162	1.00009	0.49326	14.53	3.15	3.70	21.38	10.55	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.24	22.17	10.94
12年目	H 41	0.99931	1.00162	1.00009	0.4746	14.52	3.16	3.71	21.38	10.15	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.23	22.17	10.52
13年目	H 42	0.99030	1.00032	0.99368	0.4564	14.51	3.16	3.71	21.38	9.76	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.23	22.17	10.12
14年目	H 43	0.99021	1.00032	0.99364	0.4388	14.50	3.16	3.72	21.24	9.32	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.22	22.03	9.67
15年目	H 44	0.99011	1.00032	0.99360	0.4220	14.22	3.16	3.72	21.11	8.91	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.21	21.89	9.24
16年目	H 45	0.99001	1.00032	0.99356	0.4057	14.03	3.17	3.72	20.97	8.51	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.20	21.75	8.82
17年目	H 46	0.98991	1.00032	0.99351	0.3901	13.94	3.17	3.72	20.83	8.13	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.19	21.61	8.43
18年目	H 47	0.98981	1.00032	0.99347	0.3751	13.80	3.17	3.72	20.69	7.76	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.18	21.47	8.05
19年目	H 48	0.98970	1.00032	0.99343	0.3607	13.68	3.17	3.72	20.55	7.41	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.17	21.33	7.69
20年目	H 49	0.98959	1.00032	0.99339	0.3468	13.52	3.17	3.72	20.41	7.08	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.16	21.19	7.35
21年目	H 50	0.98948	1.00032	0.99334	0.3335	13.38	3.17	3.72	20.27	6.76	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.15	21.04	7.02
22年目	H 51	0.98937	1.00032	0.99330	0.3207	13.24	3.17	3.73	20.14	6.46	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.14	20.90	6.70
23年目	H 52	0.98926	1.00032	0.99325	0.2741	13.10	3.17	3.73	20.00	6.17	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.13	20.76	6.40
24年目	H 53	0.98914	1.00032	0.99321	0.2985	12.96	3.17	3.73	19.86	5.88	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.12	20.62	6.11
25年目	H 54	0.98902	1.00032	0.99316	0.2851	12.82	3.17	3.73	19.72	5.62	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.11	20.48	5.84
26年目	H 55	0.98890	1.00032	0.99311	0.2741	12.68	3.18	3.73	19.58	5.37	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.10	20.34	5.57
27年目	H 56	0.98878	1.00032	0.99306	0.2636	12.54	3.18	3.73	19.44	5.13	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.09	20.20	5.32
28年目	H 57	0.98865	1.00032	0.99302	0.2534	12.40	3.18	3.73	19.30	4.89	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.08	20.06	5.08
29年目	H 58	0.98852	1.00032	0.99297	0.2437	12.25	3.18	3.73	19.17	4.67	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.07	19.91	4.85
30年目	H 59	0.98839	1.00032	0.99292	0.2343	12.11	3.18	3.74	19.03	4.46	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.06	19.77	4.63
31年目	H 60	0.98825	1.00032	0.99287	0.2253	11.97	3.18	3.74	18.89	4.26	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.05	19.63	4.42
32年目	H 61	0.98811	1.00032	0.99282	0.2166	11.83	3.18	3.74	18.75	4.06	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.49	0.04	19.49	4.22
33年目	H 62	0.98797	1.00032	0.99276	0.2083	11.69	3.18	3.74	18.61	3.88	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.03	19.35	4.03
34年目	H 63	0.98782	1.00032	0.99271	0.2003	11.55	3.18	3.74	18.47	3.70	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.02	19.21	3.85
35年目	H 64	0.98767	1.00032	0.99266	0.1926	11.41	3.18	3.74	18.34	3.53	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	19.07	3.67
36年目	H 65	0.98752	1.00032	0.99260	0.1852	11.27	3.19	3.74	18.20	3.37	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	18.93	3.51
37年目	H 66	0.98736	1.00032	0.99255	0.1780	11.13	3.19	3.74	18.06	3.21	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	18.79	3.34
38年目	H 67	0.98720	1.00032	0.99249	0.1712	10.99	3.19	3.74	17.92	3.07	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	18.64	3.19
39年目	H 68	0.98703	1.00032	0.99244	0.1646	10.85	3.19	3.75	17.78	2.93	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	18.50	3.05
40年目	H 69	0.98686	1.00032	0.99238	0.1583	10.71	3.19	3.75	17.64	2.79	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	18.36	2.91
41年目	H 70	0.98669	1.00032	0.99232	0.1522	10.57	3.19	3.75	17.50	2.66	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	18.22	2.77
42年目	H 71	0.98651	1.00032	0.99226	0.1463	10.43	3.19	3.75	17.37	2.54	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	18.08	2.65
43年目	H 72	0.98632	1.00032	0.99220	0.1407	10.28	3.19	3.75	17.23	2.42	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	17.94	2.52
44年目	H 73	0.98613	1.00032	0.99214	0.1353	10.14	3.19	3.75	17.09	2.31	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	17.80	2.41
45年目	H 74	0.98594	1.00032	0.99208	0.1301	10.00	3.19	3.75	16.95	2.21	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	17.66	2.30
46年目	H 75	0.98574	1.00032	0.99201	0.1251	9.88	3.20	3.75	16.81	2.10	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	17.51	2.19
47年目	H 76	0.98553	1.00032	0.99195	0.1203	9.72	3.20	3.76	16.67	2.01	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.49	0.01	17.37	2.09
48年目	H 77	0.98532	1.00032	0.99188	0.1157	9.58	3.20	3.76	16.54	1.91	-0.02	-0.01	0.35	0.31	0.49	0.01	17.23	1.99
49年目	H 78	0.98510	1.00032	0.99182	0.1112	9.44	3.20	3.76	16.40	1.82	-0.02	-0.01	0.35	0.31	0.49	0.01	17.09	1.90
合 計						632.46	158.34	188.00	976.81	345.77	-1.49	-0.53	17.08	15.07	22.86	3.01	1,014.54	358.84

箇所名： 国道27号 西舞鶴道路

走行時間標準  
(億円)

現在価値  
① x (A)

乗用車種 小型貨物 普通貨物 ① 計

現在価値  
② x (A)

乗用車種 小型貨物 普通貨物 ② 計

事故減少効果  
(億円)

便宜合計  
①-③

現在価値  
割引率4%

名 計  
(億円)

部署名: 国連27号 西舞鶴道路

経費の現在価値算定表(現事業)

年次 (年度)	年度 別22	総走行台数の年次割合(率)		割引率 (A)	GDP デフレーター	実行時原価(億円)				実行経費原価 (億円)				事業減少費 (億円)		合計 (億円)		
		乗用車	貨物車			全車	乗用車	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 (1) x (A)	乗用車	小型貨物	普通貨物	②計		現在価値 (2) x (A)	③
1999年	H 29	0.99958	1.00025	0.99980	91.3	14.62	3.11	3.65	21.38	16.25	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.22	0.49	0.38	22.17
2000年	H 30	0.99956	1.00025	0.99980	91.3	14.62	3.11	3.65	21.38	15.62	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.21	0.49	0.36	22.17
2001年	H 31	0.99958	1.00025	0.99980	91.3	14.61	3.11	3.65	21.38	15.02	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.20	0.49	0.35	22.16
2002年	H 32	0.99932	1.00164	1.00005	91.3	14.61	3.11	3.65	21.37	14.44	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.20	0.49	0.35	22.16
2003年	H 33	0.99932	1.00164	1.00005	91.3	14.60	3.12	3.66	21.37	13.88	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.19	0.49	0.32	22.16
2004年	H 34	0.99932	1.00164	1.00005	91.3	14.59	3.12	3.67	21.37	13.35	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.18	0.49	0.31	22.16
2005年	H 35	0.99932	1.00164	1.00005	91.3	14.58	3.13	3.67	21.37	12.84	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.18	0.49	0.31	22.16
2006年	H 36	0.99931	1.00163	1.00005	91.3	14.57	3.13	3.68	21.38	12.34	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.17	0.49	0.30	22.16
2007年	H 37	0.99931	1.00163	1.00005	91.3	14.56	3.14	3.68	21.38	11.87	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.16	0.49	0.27	22.17
2008年	H 38	0.99931	1.00163	1.00005	91.3	14.55	3.14	3.69	21.38	11.41	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.16	0.49	0.27	22.17
2009年	H 39	0.99931	1.00162	1.00005	91.3	14.54	3.15	3.70	21.38	10.98	-0.03	-0.01	0.34	0.29	0.15	0.49	0.25	22.17
2010年	H 40	0.99931	1.00162	1.00005	91.3	14.53	3.15	3.70	21.38	10.55	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.15	0.49	0.24	22.17
2011年	H 41	0.99931	1.00162	1.00005	91.3	14.52	3.16	3.71	21.38	10.15	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.14	0.49	0.23	22.17
2012年	H 42	0.99930	1.00032	0.99986	91.3	14.51	3.16	3.71	21.38	9.76	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.14	0.49	0.23	22.17
2013年	H 43	0.99921	1.00032	0.99984	91.3	14.36	3.16	3.72	21.11	8.91	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.13	0.49	0.21	21.88
2014年	H 44	0.99911	1.00032	0.99980	91.3	14.22	3.17	3.72	20.97	8.51	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.12	0.49	0.20	21.75
2015年	H 45	0.99001	1.00032	0.99356	91.3	14.06	3.17	3.72	20.83	8.13	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.12	0.49	0.20	21.75
2016年	H 46	0.98991	1.00032	0.99351	91.3	13.94	3.17	3.72	20.69	7.76	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.12	0.48	0.19	21.61
2017年	H 47	0.98981	1.00032	0.99347	91.3	13.80	3.17	3.72	20.55	7.41	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.11	0.48	0.18	21.47
2018年	H 48	0.98970	1.00032	0.99342	91.3	13.66	3.17	3.72	20.41	7.08	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.11	0.48	0.17	21.33
2019年	H 49	0.98959	1.00032	0.99336	91.3	13.52	3.17	3.72	20.27	6.76	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.10	0.47	0.16	21.19
2020年	H 50	0.98949	1.00032	0.99334	91.3	13.38	3.17	3.72	20.14	6.46	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.10	0.47	0.16	21.04
2021年	H 51	0.98937	1.00032	0.99330	91.3	13.24	3.17	3.73	20.00	6.17	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.09	0.47	0.15	20.90
2022年	H 52	0.98926	1.00032	0.99325	91.3	12.96	3.17	3.73	19.86	5.89	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.09	0.46	0.14	20.76
2023年	H 53	0.98914	1.00032	0.99321	91.3	12.82	3.17	3.73	19.72	5.62	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.09	0.46	0.14	20.62
2024年	H 54	0.98902	1.00032	0.99316	91.3	12.68	3.17	3.73	19.58	5.37	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.08	0.46	0.13	20.48
2025年	H 55	0.98890	1.00032	0.99311	91.3	12.54	3.18	3.73	19.44	5.13	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.08	0.45	0.12	20.34
2026年	H 56	0.98878	1.00032	0.99306	91.3	12.40	3.18	3.73	19.30	4.89	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.08	0.45	0.12	20.20
2027年	H 57	0.98865	1.00032	0.99302	91.3	12.25	3.18	3.73	19.17	4.67	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.08	0.45	0.11	20.06
2028年	H 58	0.98852	1.00032	0.99297	91.3	12.11	3.18	3.73	19.03	4.46	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.07	0.44	0.11	19.91
2029年	H 59	0.98839	1.00032	0.99292	91.3	11.97	3.18	3.74	18.89	4.26	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.07	0.44	0.10	19.77
2030年	H 60	0.98825	1.00032	0.99287	91.3	11.83	3.18	3.74	18.75	4.06	-0.03	-0.01	0.34	0.30	0.07	0.44	0.10	19.63
2031年	H 61	0.98811	1.00032	0.99282	91.3	11.69	3.18	3.74	18.61	3.88	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.06	0.43	0.09	19.50
2032年	H 62	0.98797	1.00032	0.99276	91.3	11.55	3.18	3.74	18.47	3.70	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.06	0.43	0.09	19.35
2033年	H 63	0.98782	1.00032	0.99271	91.3	11.41	3.18	3.74	18.34	3.53	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.06	0.43	0.09	19.21
2034年	H 64	0.98767	1.00032	0.99266	91.3	11.27	3.19	3.74	18.20	3.37	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.06	0.43	0.08	19.07
2035年	H 65	0.98752	1.00032	0.99260	91.3	11.13	3.19	3.74	18.06	3.21	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.06	0.42	0.08	18.93
2036年	H 66	0.98736	1.00032	0.99255	91.3	10.99	3.19	3.74	17.92	3.07	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.05	0.42	0.07	18.79
2037年	H 67	0.98720	1.00032	0.99249	91.3	10.85	3.19	3.75	17.78	2.93	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.05	0.42	0.07	18.64
2038年	H 68	0.98703	1.00032	0.99244	91.3	10.71	3.19	3.75	17.64	2.79	-0.03	-0.01	0.34	0.31	0.05	0.41	0.07	18.50
2039年	H 69	0.98686	1.00032	0.99238	91.3	10.57	3.19	3.75	17.50	2.66	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.05	0.41	0.06	18.36
2040年	H 70	0.98669	1.00032	0.99232	91.3	10.43	3.19	3.75	17.37	2.54	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.05	0.41	0.06	18.22
2041年	H 71	0.98651	1.00032	0.99226	91.3	10.28	3.19	3.75	17.23	2.42	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.05	0.41	0.06	18.08
2042年	H 72	0.98632	1.00032	0.99220	91.3	10.14	3.19	3.75	17.09	2.31	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.04	0.40	0.05	17.94
2043年	H 73	0.98614	1.00032	0.99214	91.3	10.00	3.19	3.75	16.95	2.21	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.04	0.40	0.05	17.80
2044年	H 74	0.98594	1.00032	0.99208	91.3	9.86	3.20	3.75	16.81	2.10	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.04	0.39	0.05	17.66
2045年	H 75	0.98574	1.00032	0.99201	91.3	9.72	3.20	3.76	16.67	2.01	-0.02	-0.01	0.34	0.31	0.04	0.39	0.05	17.51
2046年	H 76	0.98553	1.00032	0.99195	91.3	9.58	3.20	3.76	16.54	1.91	-0.02	-0.01	0.35	0.31	0.04	0.39	0.05	17.37
2047年	H 77	0.98532	1.00032	0.99188	91.3	9.44	3.20	3.76	16.40	1.82	-0.02	-0.01	0.35	0.31	0.04	0.39	0.05	17.23
2048年	H 78	0.98510	1.00032	0.99182	91.3	9.32	3.20	3.76	16.26	1.74	-0.02	-0.01	0.35	0.31	0.04	0.38	0.04	17.09
合計						632.46	158.34	186.00	976.81	345.77	-1.49	-0.53	17.08	15.07	5.06	22.66	8.01	1,014.54



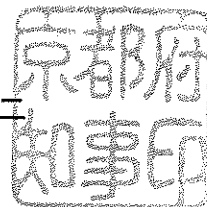
2道計第188号

平成22年8月26日

国土交通省近畿地方整備局長

上総 周平 様

京都府知事 山田 啓二



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成22年8月9日付け国近整企画第20号で照会のことについて、下記のとおり回答します。

記

対応方針（原案）案のとおり、引き続き事業を推進し、早期の完成に努められたい。

